

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスであいJUMP		
○保護者評価実施期間	令和7年2月3日 ～ 令和7年 2月 22日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17 (回答者数)	14
○従業者評価実施期間	令和7年2月3日 ～ 令和7年 2月 22日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子供たちの満足度や安心感、子供たちとの関わり合いに関しては弊事業所が市内一番と自負している。	子供たちと支援員の信頼関係の構築、子供たちに楽しいと思ってもらえる支援を意識して取り組んでいる。	続けて子供たちのために出来ることを第一優先で考えていく。
2	保護者様への共感して頂いている姿勢がアンケートに反映頂けたのかと思う。	モニタリングや送迎時での保護者様とお話や相談を真摯に受け止めているためかと考える。	子供たちや保護者様に信頼してもらえるように関係性を築いていく。
3	職員に対して、積極的な研修への参画や資格の取得に関して機会の確保が出来ている。	子供たちに必要なケアや支援のために職員が研修をしやすい、そして言いやすい環境を心がけている。	研修が子供たちの支援に結び着くように職員同士で話しあいの機会を作っている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会を設けていなかった。	以前に保護者会をしたことがあるのだが、皆様多忙のため保護者様の参加が少ないということがあり、保護者会の開催が無くなってしまった。	保護者会の開催を進めていき、保護者様の参加を促していきたい。
2	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていなかった。	個別での家族支援を協力機関と連携をとって進めているところです。必要性がある場合は支援を広げていこうと考えています。相談出来る機会を計画し提供していく。	家族支援プログラムの提供や家族参加が出来るイベントの企画を作る。
3	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がない。	他の子ども団体との交流や親交がないため。	他の団体との親交を築きあげて、地域の他の子どもたちとの交流や活動をしていく必要がある。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	放課後等デイサービスであい JUMP
------	--------------------

公表日 令和7年3月5日

利用家庭数 17

回収数 14

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9		1	4		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	8		1	5	職員不足が理由で、土曜日利用を断られた時もある。	感染症拡大した時や急な利用希望などの職員対応が中々難しく改善していく努力をしているところです。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8			6		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11		1	3		日々の掃除の実施を考えます。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	1		3		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13			1		
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12			2		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10	3		3		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11	1		2		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11		1	2		予定表を作成しているけれど職員全員への共有が足りないので共有していきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	3	3	5		他の子どもたちに触れ合う機会が、少し計画できていないので意見を聞きながら計画していきます。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12			2		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10	4				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	3	4	5		これから少しずつ計画をしていくように話し合いをしています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	14					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	3		2	定期的にではなく、送迎時や学校でのカンファレンスで助言を頂いている。	半年ごとのモニタリングは行っておりませんが、定期的な助言等の支援を増やしていきたいと思います。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14					’
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	3	5	5		父兄会の計画をしたのですが、費用、時間、場所等の問題で実行にはなりませんでした。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9		1	4		こどもや家族からの相談を受けていますが、職員への共有を進めています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11		1	2		

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8		3	3	予定変更などをLINEで連絡した際に一言反応が欲しい。 伝わっているのかわからない。	大変申し訳ございません。ご連絡頂いた際に返信を徹底いたします。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	3	1	2		緊急時のマニュアルを作っているのですが、分かりやすくする工夫をしています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	2		5		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	1		3	安全確保はされていると信じているが周知はされていない。	大変申し訳ございません。安全確保計画に関して、可及的速やかに保護者の皆様に周知徹底致します。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11			3		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14					
	29	事業所の支援に満足していますか。	14					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスであい JUMP				公表日		令和7 年 3月 5日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1		学習の予定を早く計画して利用者の必要な学習スペースを考慮する。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5	1		出勤計画を早期に決定し共有する。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6						
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6						
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	2					
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1	曜日を決めて、一週間に一度会議を行っている。				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6						
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2		職員の意見を把握する機会はないと感じる。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5		職員は事業所が第三者による外部評価を行っているか通達されていないのでこのような結果になった。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		積極的な研修の参画を職員に伝えている。				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6						
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6						
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6						
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1					
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6						
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1		活動計画を作ったときに全員と共有する。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		1週間ごとのプログラムは決めているが自立支援や異なる支援を不定期にとり入れている。				

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		個別活動と集団活動のバランスを気を付けている。 こどもたちの様子や状況、人数に配慮した支援が出来るよう心掛けている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1		時間がなく、来ていない時があるという意見があった。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1		時間がなく、来ていない時があるという意見があった。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1		日報をつけていますが、職員との共有をおこなう。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6		特化したデイではないので、バランスよく組み合わせられている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		こどもの意思の尊重や自己選択しやすくする環境作りは積極的に行っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	2	担当者会議等の連絡があった時には参加をしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		担任の先生との連絡、適切な交流が出来ていると感じる。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1		他事業所の講習会に参加しているが、全員への共有をおこなう。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		6		地域の他のこどもとの関わりがあまりない。 地域のイベント等に積極的に参加していく必要がある。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3		参加しているかわからないという意見があった。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6		子供たちとの関わり合いや共通理解は送迎時やご連絡は日々進めている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5		父母会が存在していない。 保護者の交流会は開催出来ていない状態である。 交流の機会を設ける支援をしていく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		HPやLINEにて保護者との連絡や行事予定、行事の様子を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人名はもちろんであるが、顔写真等の漏洩にも編集などして取り扱いに徹底している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4	会社で繋がりのある、寺院と連携して、地域との交流が出来るイベントに参加している。	近隣住民等の招待はしたことがない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	2		ヒヤリハットは全職員に共有しているつもりであったが、改めて共有、再発防止に向けての検討を進める。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6			